



NO.

いちよ

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

鎮護国家

住職 平田真純

待乳山の縁起には、天台宗中興の祖である慈覚大師円仁さまが東国巡礼の折、当山に参籠され、二十一日間の浴油を修法され、鎮護国家の祈願をされたことが記されています。

天台宗は創立当初から、あらゆる人々の啓蒙・濟度とともに、鎮護国家の祈願が柱の一つとなっていました。天台宗の縁故宗派で当院の本山、聖観音宗浅草寺で毎年一月十二日から十八日まで昼夜不断で修される「温座秘法陀羅尼会」も、天下泰平・玉体安穩・五穀豊穰・万民豊樂、つまり鎮護国家を祈念申し上げています。

鎮護国家とは仏法によって国家を鎮め護ることで、国家をまもるといふ響きから、外敵から日本を守るといふ印象も強いのですが、それだけでなく、当時であれば疫病や飢饉等の災厄を防ぐ等の祈念とともに、仏の教えが広く人々にいきわたり、世の中がよりよい方に向かい、皆が幸せに暮らせるようにという意義があります。

宗派でそのような共通のベクトルで向かっているということは、信徒の皆様一人一人が所願成就を祈る当

山においても違いはありません。

そもそも聖天様のご本誓は、「大聖歡喜尊天和讚」に『そもこの天の本誓の世の父母が其子等の無理の願いと知りつつもその智慧浅きを愍みて願いを叶え給いつつ導き給うにさも似たり』

とあるように、心願を通して、仏法に向かわしめ、他のためになる人間になるよう導くということです。心のかえや体の不調等が解消すれば、他を顧みる余裕も生まれ、そしてそれが家族から近隣社会、国へと伝わっていけば、ひいては鎮護国家ということにもつながってきます。

天台宗には「一隅を照らす」という標語があります。これは、それぞれ自分の置かれている場所や立場でベストを尽くして照らすということです。鎮護国家のもとには、私たち一人一人の心がけでしょう。

五月二十八〜二十九日、天台宗総本山、比叡山延暦寺の一般研修道場「居士林」にて一泊修行体験を計画しています。根本中堂や比叡山唯一の聖天堂等の参拝もごさいます。この機会にぜひご参加ください。百日回峰行者の当院僧侶が引率いたします。

待乳山だより

信徒旅行ご案内



五月二十八日(土)～二十九日(日)、比叡山延暦寺にて修行体験を行います。

初日はまず比叡山、律院にて千日回峰行満行の阿闍梨様よりお護摩を修していただきます。続いて最乗院の聖天堂を参拝。比叡山居士林道場にて一泊研修。二日目は研修終了後、根本中堂を参拝し、下山する予定です。

主な研修内容として、坐禅、齋食、写経、作務(道場内の清掃)、法話等を行います。一般の方のために組まれた内容ですので、どなたでもご気軽に参加ください。

応募締め切り 三月三十一日(木)
参加費 四万五千円(交通代食事代含む)
定員 四十五名(最小催行二十名から)

お宮参り

二月二十一日

木佐貫梨奈ちゃんのお宮参りを行い、ご宝前でお加持が授けられました。尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。



ボーイスカウト修行体験

二月二十日から二十一日にかけて、ボーイスカウト台東七団の皆さんが当山を訪れ、修行を体験しました。本堂での坐禅の他、境内の清掃を行いました。短い時間でしたが、子供たちにとって学びの多い一日となったことでしょう。



循環バス「りめぐりん」開業

一月三十一日、台東区内を巡る新しい循環バス「りめぐりん」が新しく開業しました。

その名の通り台東区をぐるりと一周する路線です。上野駅入谷口～三ノ輪橋駅～浅草駅～新御徒町駅を時計回りに循環します。

運賃は百円。運行間隔は二十分。一周の所要時間は八十分となります。
「リバーサイドスポーツセンター前」が当山最寄りの停留所です。

行事報告

二月二十日(土)、浴油講を厳修し、聖天様に胡麻油をお供えいたしました。

朝まいり会 三月度表彰者(敬称略)

半年 小川実香

一年 新井ユタカ 新井治美 山崎友靖

二年 石川一浩

桜の季節

例年通り

の暖かさであれば、この号が出る頃には、中庭の枝垂れ桜が満開になっていくことと思います。スカイツリーをバックに池に舞い散る花びらはとても風情があります。



浅草駅からの道中でしたら、隅田公園の桜並木も必見です。

隅田公園には約六百四十本の桜があり、八代將軍徳川吉宗が享保二年に堤防保護のために植えたため、墨堤の桜とも言われています。歌川広重の浮世絵にも待乳山と隅田川の桜が描かれ、江戸時代から続く桜の名所であったことが伺えます。平成二年には日本さくら名所百選に選出されました。



隅田公園では四月の上旬まで「桜まつり」が開催される他、四月十六日には流鏝馬、十七日には早慶レガッタとイベントが続きます。

お参りついでお花見を楽しんではいかがでしょうか。

訃報 昨年末、代表世話人であった三山トシ子様が、享年九十一歳にて永眠されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

待乳山本龍院 四月の行事

安全講祈禱会

四月十七日(日) 午前十一時

講金 一、五〇〇円 (一鉢増毎五〇〇円)

四月十七日、安全講を厳修いたします。

安全という言葉で辞書を引いてみますと、「危険がなく安心なこと。」と記載してあります。この『安心』という言葉は、元々仏教で使われる言葉でした。仏教における『安心』とは、一切の迷いから解放された悟りの境地のことを指します。そこから転じて心が安らいでいること、心が動揺しなくなることを意味するようになったそうです。

心を平穩に保つことは難しいものですが、聖天様の功德がその一助となります。聖天様のご加護をいただき、守っていただいていると自覚すれば、不安なく日々を過ごせることでしょう。

安全講では、家内安全、身上安全、交通安全、旅行安全の四種類の安全祈願を行います。お申し込みの方には、お名前と各安全祈願の旨を入れたお守りを、パウチ加工してお渡しいたします。用紙に必要事項をご記入の上、寺務所にてお申し込みください。聖天様をご供養申し上げ、皆様の安全をご祈念いたします。ぜひ当講にご参加ください。



安全講特別公演 熊澤南水 朗読会

安全講終了後、信徒会館大広間にて、朗読家の熊澤南水さんによる朗読会「南水ひとり語り」を開催します。

今回披露していただく演目は平岩弓枝さんの「ちっちゃなかみさん」。浅草と向島を舞台にした健気な少女の物語です。

入場は無料となりますので、どなたでもお気軽にお越しください。

熊澤南水

1941年、東京生まれ。40歳にして、語り手の道を目指して勉学に励む。1991年に国際芸術文化賞、2011年に「下町人間庶民文化賞」受賞。浅草の有名洋食店「ヨシカミ」の先代女将でもある。



坐禅の会を毎月開催いたします。

これまで毎月第四土曜日の夜間開堂では、法話とおつとめ、坐禅の会を交互に開催してきましたが、今後は坐禅の会のみを行います。参加費、定員等に変更ありません。

これからも坐禅の会をよろしく願っています。



四月行事予定

安全講祈禱会

四月十七日(日) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也 (二躰増毎五〇〇円)

皆様の諸事の安全を祈願し、パウチ加工したお守りをお授けいたします。

特別公演「南水ひとり語り」

四月十七日(日) 正午

観覧 無料

安全講終了後、大広間にて熊澤南水さんによる朗読の会が行われます。

朝まいり会

四月一日〜七日 午前八時から八時半

会費 月五〇〇円也

都合のよい日にご参加ください。最終日には、お勤め終了後に食事作法を行います。

日曜勤行

四月十日(日) 午前九時

参加費 無料

初心の方も気軽に参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

四月十日(日) 午前十時/午後一時

会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

坐禅の会

四月二十三日(土) 午後六時〜八時 定員三十名 参加費 五〇〇円也

今月から坐禅の会を毎月行います。定員になり次第、募集は締め切らせていただきます。

合同大般若法要

四月二十五日(月) 午前十二時

法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

五月の行事

大般若講

五月二十日(金) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

坐禅の会

五月二十一日(土) 午後六〜八時 定員三十名 参加費五〇〇円

信徒旅行の日程の都合により、五月の坐禅の会は二十一日に開催いたします。

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万円以上 (一週間)

浴油祈禱 三千五百円以上 (一週間)

華水供 五百円/一日